

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大に関する学会からの声明

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大により、国内でも多くの方々がこの病に苦しんでおります。また、国民全体が今も大きな不安にさらされております。医療現場では多大な負担がかかり、医療従事者の疲弊も著しくなっております。そして、医療や行政の現場におけるさまざまな制約により、本来の医療・福祉の提供に大変困難な状況に陥っております。

こうした状況の中で、妊産婦の皆さまは自らが感染してしまうのではないかとの危惧を抱き、平時なら得られるはずの支援が十分に受けられなくなっていることに不安をお持ちのことと思います。周産期メンタルヘルスにかかわる医療従事者や行政機関の皆さまも、ご自身への感染の不安を抱きつつ、妊産婦の皆さまに必要な支援を十分に提供できないことに思い悩み、新たな援助の方法がないかと模索しておられることでしょう。

日本周産期メンタルヘルス学会は、妊産婦の皆さまとご家族さま、また周産期医療に従事する皆さまとともに、この困難な状況にどのように対処するかを考えていきたいと考えています。今後、適宜、皆さま方の健全なメンタルヘルスの維持・向上に向けて、個別の案件に学会として双方向的な対応は困難ではありますが、必要で役に立つ情報を発信していきたいと考えています。

明けない夜はありません。皆さま方のご健康と新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の一日も早い終息を願い、来るべき健やかな未来に思いをはせて、この時代をともに乗り切りましょう。

令和2年5月11日

日本周産期メンタルヘルス学会理事会